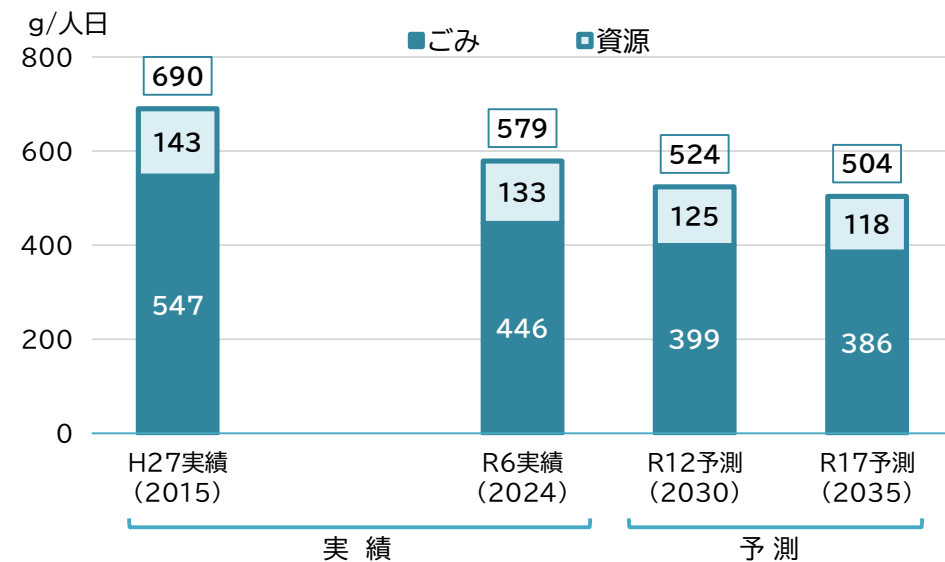


今後のごみ・資源量の見通し

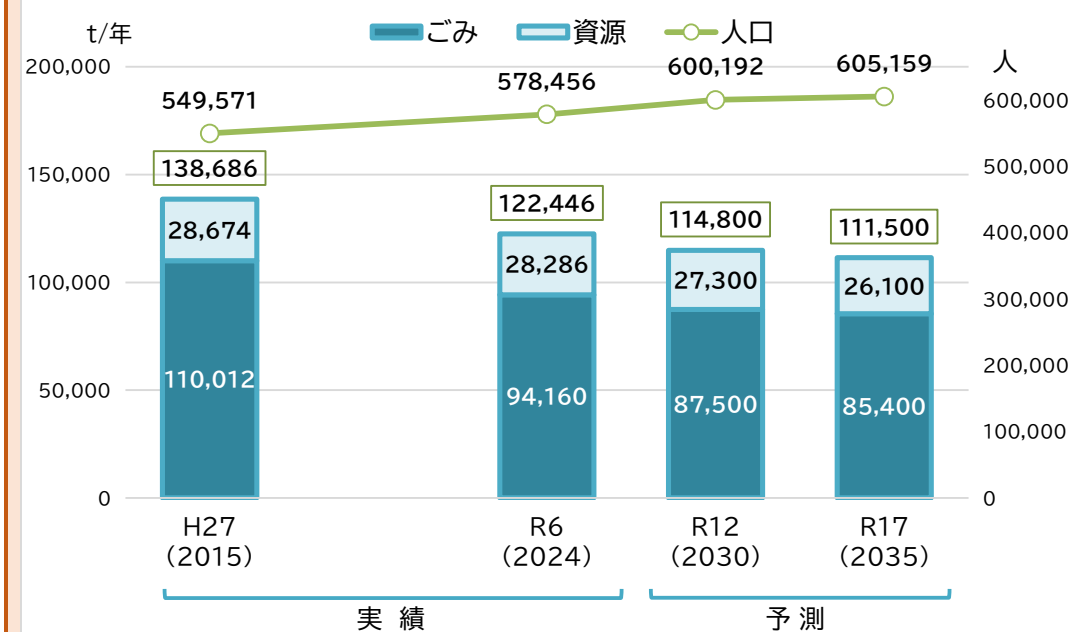
現状のまま推移した場合、引き続きごみ・資源量は減少の見通しです。

※第4回清掃・リサイクル部会「参考資料」からの変更点：
令和6（2024）年度ごみ・資源量確定値を適用し、予測値を修正

■区民1人1日あたりのごみ量・資源量の見通し



■年間排出量の見通し



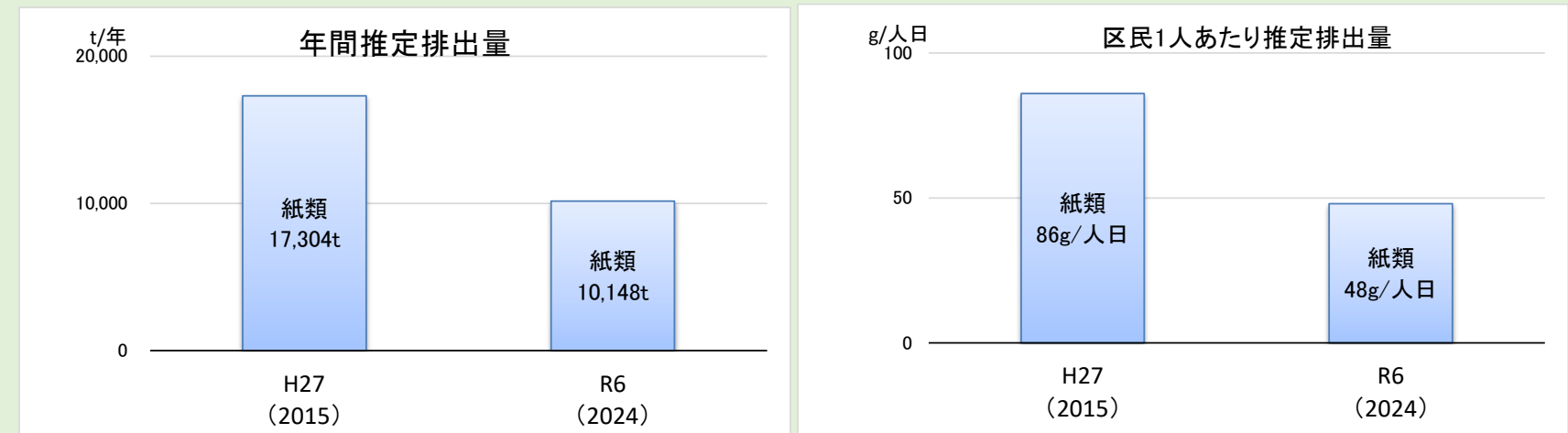
※人口予測は「板橋区人口ビジョン（2025年～2050年）」に基づく

主要品目別のここ10年間の変化

平成27（2015）年度、令和6（2024）年度のごみ組成分析調査から、紙類、プラスチック類、生ごみ・食品ロスのごみ（可燃ごみ・不燃ごみ）への排出量を算出しました。

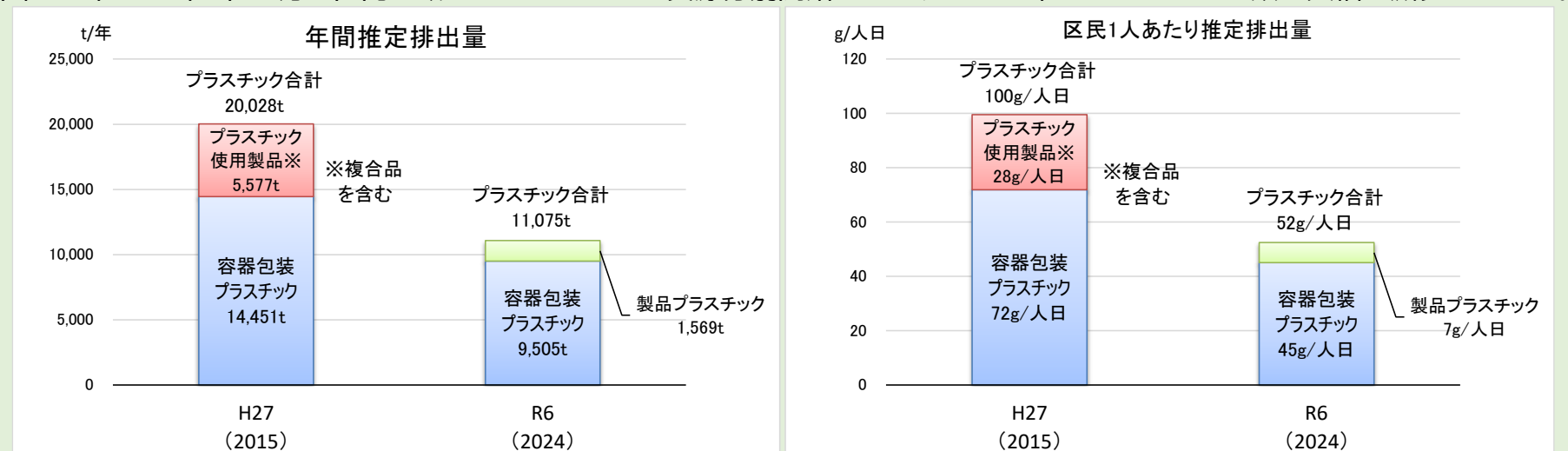
■紙類の排出量の変化

ごみに排出される資源化可能な紙類は、新聞紙などの排出量の減少により10年間で大幅に減少しています。



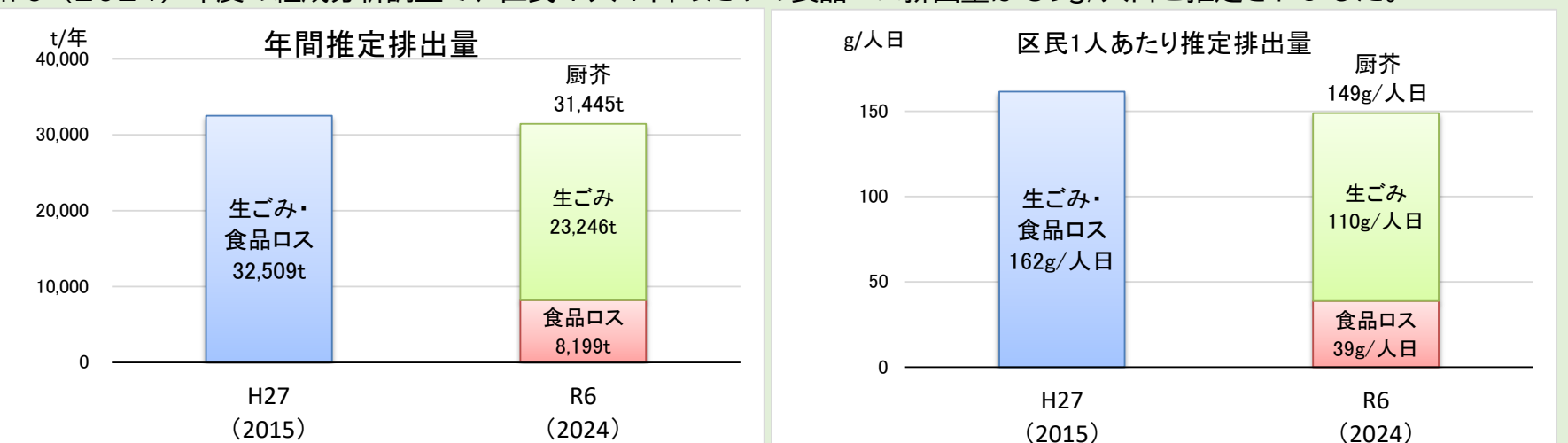
■プラスチック類（容器包装プラスチック+製品プラスチック（プラスチックだけでできている製品））排出量の変化

令和6（2024）年4月の区内全域でのプラスチック資源分別開始もあり、ごみの中のプラスチック類は大幅に減少しました。



■生ごみ・食品ロス排出量の変化

令和6（2024）年度の組成分析調査で、区民1人1日あたりの食品ロス排出量は39g/人日と推定されました。



ごみ減量・資源化目標（品目別目標）の設定

国や都の目標を参考としつつ、主要品目（紙類・プラスチック類・厨芥）別に区としての目標値を設定し、品目別削減目標を達成した場合の令和 17（2035）年度ごみ・資源量を算定しました。

品目	紙類	プラスチック類	厨芥（生ごみ・食品ロス）
参考とする 国・都の 目標	—	<ul style="list-style-type: none">国「プラスチック資源循環戦略」（令和元（2019）年） →プラスチック削減目標の基準年の設定なし。東京都「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」（令和 7（2025）年） →令和 17（2035）年 プラスチック焼却量 50%削減 （平成 29（2017）年度比） 令和 32（2050）年 プラスチック利用に伴う実質 CO₂ ゼロへ	<ul style="list-style-type: none">国「食品ロスの削減の推進に関する基本方針」（令和 7（2025）年 3 月変更） →家庭系：令和 12（2030）年に平成 12（2000）年比で半減東京都「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」（令和 7（2025）年） →令和 17（2035）年に平成 12（2000）年比で 65%削減※ ※食品ロス全体。家庭系食品ロスの個別目標はなし 令和 32（2050）年に食品ロス発生量実質ゼロへ
目標設定の 考え方	○区目標：令和 17（2035）年度に、令和 6（2024）年度比でごみ中の紙類を 20%削減する →令和 17（2035）年度までに、ごみ中の紙類を約 2,000t 削減する	○区目標：令和 17（2035）年度に、令和 6（2024）年度比でごみ中のプラスチック（焼却）量を 30%削減する →令和 17（2035）年度までに、ごみ中のプラスチック類を 3,300t 削減する。	○区目標：令和 17（2035）年度に、令和 6（2024）年度比でごみ中の食品ロス量を 25%、食品ロスを含む厨芥全体を 15%削減する →令和 17（2035）年度までに、ごみ中の食品ロスを 2,100t、厨芥類全体で 4,800t 削減する
令和 17（2035） 年度の 目標設定			

品目別目標を達成した場合の令和 17（2035）年度ごみ・資源量（計画目標）の算定結果

